

合唱団ホームページアドレス <http://www.wiengifu.org>

音楽とは 横への感性なり!

7

月号

2020年7月1日
編集・発行/
ウィーン岐阜合唱団

練習再開に寄せて

4カ月ぶりの練習再開、まだまだ油断はできませんが、ともかくおめでとうございます。待ちにまった練習再開。それにしてもこれほど緊急事態が長くなるとは3月の段階で誰も予測できなかったことと思います。ましてや、岐阜の合唱団がコロナのクラスターになり、感染者がでて、一躍有名になるとは！緊急事態が解除されたとは言ってもまだウイルスの感染がなくなったわけでないので、当分の間はさまざまな予防策をとったうえでの再開となります。手洗い、消毒、検温や、マスク、それに一人一人の間隔を開けるとか、全体練習を少なくするとかの対策が必要です。

合唱をするものにとって、合唱が不要不急の代表格のようにいわれるのは、口惜しい限りです。確かに不急かもしれませんが私たちにとって必要不可欠だからです。しかしながらコロナの感染力は極めて強く、三密状態が危険であれば、合唱はまさに三密そのものと言えます。したがって感染の恐れがある限り、合唱活動にはどうしても制約が出てきます。

マスクをして、間を空けての「フロイデ！」は全くサマにならないし、そもそもそんな広いステージはありません。まさにコロナは単に人命を危険にさらしただけでなく、文化に致命的なダメージを与えたのです。一刻も早い終息を祈るばかりです。

すでにご承知の通り、このようなコロナ禍のため、残念ながら皆が一生懸命練習に取り組んで来た「戴冠ミサ」の夏の定期演奏会は中止になりました。従って皆さん期待の戴冠ミサは来年の夏の定期演奏会に持ち越されることになりました、せっかく始めたばかりの「戴冠ミサ」皆様すっかり忘れてしまうのではなく、個人的に温めて1年

ウィーン岐阜合唱団 副団長 見田村 勝信

がかりで取り組み、一年後には素晴らしい演奏会にしようではありませんか！

今回の長いお休みで、感じたことはやはり声を出すということは、筋力が大事ということです。毎週練習に参加していることによって声帯が鍛えられ（というよりは老化が抑えられ）ていたのが、4か月もの長い間歌ってないことにより、声が出るかなという心配が先立ちます。やはり1週間に1回でも練習に参加して声を出すということが基本です。そのことを改めて強く実感しました。幸い5月には、真由子先生のご好意により、ホームページに先生のレッスンが公開されましたが素晴らしい試みで、ウィーン岐阜合唱団員だけの特典ともいえるべきもので、ホームページを開いていただければどなたでも閲覧することができます。是非ご活用ください。

私たちは、幸いというか、運が良いというべきか分かりませんが、パンデミックという事態は初めての経験です。このような事態になって初めてその怖さを知り、知ったことですが、人類は有史以来、幾多のパンデミックを経験してきました。特に陸続きのヨーロッパや中国においては顕著です。原因不明の病気で家族や周りの人が死んでゆく。その原因が、細菌やウイルスが原因ということが分かってきたのはつい最近のことです。原因や、治療法がない時代の人々の恐怖はいかばかりであったかと思います。今では医学の進歩により、病原菌も特定でき、その治療薬やワクチンもいずれ作られ、それに加え人間の身体も免疫という形で少しづつ、コロナに打ち克って行くことでしょう。

当面はソーシャルディスタンスを維持して三蜜を防がねばなりません、団員一人一人の気持ちはいつも蜜でありたいと願っています。

あれから1年経ちました。

岐阜本部 テノールパートリーダー 垣見 育男

中日新聞に掲載されていた携帯電話番号をスーパーの広告の裏にメモし、どきどきしながら電話。「見学したいのですが、よろしいですか?」「大歓迎です。どうぞお越しください。」と天使の声。伺ってびっくり。なんと、43年前に大学1年の時に歌った「みずのいのち」これならいけるかもと、即、「入団させてください。」しかし、歌ってみたらほとんど新曲。北京のカラオケで鍛えた喉は陳腐化し役に立たず。さあ困った。すると、スタッフの皆さんの「ゾーンディフェンス」でがっちりガード。テナーの方の「マンツーマンディフェンス」でしっかりフォロー。さらに先生方の親身な支援力と、マ

エストロの忍耐力のおかげで、団員として、新年を迎えました。しかし、今年になって1月はすべてお休み。がっかり。久しぶりに、若葉マークをぶら下げ、テナー内で「ハモらない」よう、「早出の遅終い」しないように、脂汗を掻きながら歌う小生に、「パートリーダーをやれ!」との「殿」の声。「殿ご乱心! か?」されど断れ切れず、苦渋の選択。気持ちは「属7」理解した上での不安憂鬱状態。支えは、木曜日PM10:00からのロング缶による喉消毒と胃洗浄。その時だけはCメジャー。感動と感謝の日々が始まってから、もうすぐ一年経ちます。ありがとうございました。

♪『指揮台』製作物語♪



皆さんに近い所で指揮を・・・、と言う平光先生の思いを実現すべく昨年末伴先生から指揮台製作の話がありました。

指揮台のサイズが決まり構想に入りましたが、問題は組立・分解可能で先生の動きに耐え得るものが出来るかどうかでした。グラついて先生の指揮に影響しては失敗です。

既存の物(70×60×25cm)に比べ、高さ広さが2倍で組立可色々考えているうちに年が明けました。しかしホームセンターで洗車台を見て製作が一気に進みました。

製作では友人5名に協力(構想・資材提供・機械工具借用・製作指導)してもらいました。

以下が指揮台の概要です。

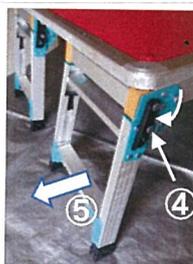
- ①サイズ-100×90×(高さ45~57の可変)cm 重量-21kg
- ②重量制限-100kg
- ③組付け状態で洗車台の脚は折り畳み可
- ④洗車台-2、上板-1、ボルト・ナット・キャップ-各8、に分解可
- ⑤組付けは道具不要(ナットは手で締め付け可)

運搬もキャリーカートで楽になりましたが、手伝って頂ければ助かります。

組み立て

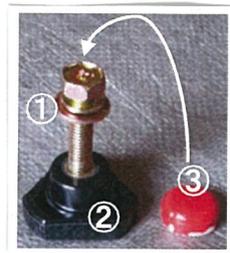
洗車台と上板は8ヵ所で右図①②のボルト(SW・W付)とナットで結合します。

ナットを手で締めて結合後キャップ③を被せます。



洗車台の安全装置④を写真の位置に移動させてロックします。(4か所)
小さなグラつきも抑えるため、洗車台の足4本をいっぱいまで広げて下さい。

岐阜本部 テナー 田口 諷男



美しいメロディは楽譜の中にはない

オタマジャクシが音楽嫌いをつくる

岩城宏之音楽教室(美を味わえる子供に育てる)より抜粋 知恵の森文庫出版

指揮者:岩城宏之

オタマジャクシアレルギーの人がいます。楽譜が読めないで、音楽はニガ手だという人のことです。

楽譜が読めないと音楽はだめなのでしょうか。けっして、そんなことはありません。

プレスリーは音譜が読めなくても、素敵な歌を歌います。チャップリンは楽譜が書けなくても「ライムライト」のような美しい曲を作りました。「紅白歌合戦」に出る歌手で楽譜をスラスラ読める人は果して何人いるでしょうか。この頃は所属のプロダクションで、新人歌手の「音楽教育」が行われていると聞きました。以前は楽譜なんて読めなくても歌っていたようです。

あまり確かな話ではありませんが、美空ひばりさんは、楽譜が読めないそうです。しかし、新曲はいちど聞くだけで、すっかり自分のものにしてしまう。それである立派な歌が歌えるというのですが、天才の彼女なら当然だと思います。ずっと以前、中尾ミエさんと対談したことがあります。これは、ぼくはあまり信じませんが、楽譜を読めないと聞きました。彼女は新曲をもらうと、まず詩のほうを何度も何度も読み返します。詩の描く情景が目浮かぶようになったら、そこでメロディを聞かしてもらおう。つぎに、その曲の伴奏で詩を語ります。最後に詩とメロディを一緒にして歌うそうです。ぼくは、その話に感動して、それこそ音楽だと思いました。楽譜が読めなくても歌が歌えるし、作曲も出来るのです。

もうひとつ、譜面を読めない人が音楽家として立派にやっている人を紹介します。ハンガリーを中心に全ヨーロッパに散らばっているジプシーたち、その特有の情熱的で抒情的な音楽は、多くの人に愛されてきました。彼らはほとんどが素晴らしい音楽家たちで、バイオリンやチェロやコントラバスだのインド原産でハンガリージプシーの民族楽器であるツィンバロの演奏は実に巧みです。その技巧は卓抜にして複雑なものだけど、彼らは別段楽譜が読めたり音楽の知識が

有るわけではありません。あの素晴らしい音楽は、父祖代々の演奏を耳で聞き覚え、見よう見真似で身につけていったものです。そして、その奏法があのように人の心の奥に訴えるのです。ところが、最近変化が現れてきました。彼らが移住の生活をやめ、一人一人が国民として正式に登録し、子供たちも学校に行くようになったのです。

生まれつき音楽好きな民族ですから、音楽学校に進む者も増えてきました。ここで一般的な音楽教育を受け、オーソドックスなオーケストラ演奏に加わる訓練を受けてしまう。クラシックオーケストラで働くようになると、彼ら独特の節回しや、個性は後から叩き込まれた音楽の理屈でいっぱいになって、自由に発揮できないわけです。そのうち決められた曲ばかり演奏することに彼らの血が承知しない結果となり、オーケストラを飛び出して、親兄弟のもとに帰るといった現象が起きます。昔ながらの自由な歌い方、音楽での酔い方ができない自分を発見するのです。学校で習った通り、頭の中で楽譜に一度おきかえて出した音では、あの奔放なジプシー節をもはや生き生きと歌えないわけです。

音譜の読める人が増えれば、今後あのもの悲しくも狂おしいジプシー音楽は減びてしまうのではないかと、ハンガリーでは心配されています。この話から考えられることは、彼らの音楽の敵はオタマジャクシだということですね。「楽譜」の存在は音楽の本質からすると「必要悪」かもしれません。もし、この言い方が、穏やかでないとするれば、「楽譜」は音楽が広い領域の人々に伝わるための便宜上どうしても必要なもの、と言い換えましょう。しかし、ジプシー音楽が楽譜と無縁なところでのみ音楽性豊かに存在し、彼らが楽譜を読めるようになると、その音楽が急速に衰退してきているという事実は、大きな意味をもっていると思います。楽譜が無くて音楽は成り立ついい例です。

【岩城宏之プロフィール】

1932年東京生まれ。東京芸術大学音楽部打楽器科に学ぶ。在学中にNHK交響楽団副指揮者となり、56年デビュー。60年N響と世界一周演奏旅行を行い一躍海外でも注目され、62年チェコ国立放送交響楽団を指揮してヨーロッパのオーケストラにデビュー。以来、国内はもとより、ベルリン・フィル、ウィーン・フィルをはじめとする国外の主要オーケストラを常時客演指揮し、特に、メルボルン交響楽団との関係は、74年首席指揮者就任、87年桂冠指揮者の称号を受けた。94年メルボルンに岩城の名を冠した「イワキ・ホール」がオープン、98年には25周年を祝う演奏会も開催された。

7~9 月練習予定

Aグループ 18:00~19:10迄 Bグループ 19:35~20:45迄 各グループとも 10 分前には集合しましょう

月 日	岐 阜	月 日	大 垣
7 月 2 日 (木)	岐阜・大垣合同練習 長森コミュニティーセンター(各グループごとの開始時間)		
7 月 9 日 (木)	岐阜・大垣合同練習 長森コミュニティーセンター(各グループごとの開始時間)		
7 月 16 日 (木)	岐阜・大垣合同練習 長森コミュニティーセンター(各グループごとの開始時間)		
7 月 16 日 (木)	岐阜・大垣合同練習 長森コミュニティーセンター(各グループごとの開始時間)		
7 月 23 日 (木)	岐阜・大垣合同練習 長森コミュニティーセンター(各グループごとの開始時間)		
8 月 6 日 (木)	長森コミュニティーセンター	8 月 7 日 (金)	大垣市南地区センター
8 月 13 日 (木)	お盆休暇	8 月 14 日 (金)	お盆休暇
8 月 20 日 (木)	長森コミュニティーセンター	8 月 21 日 (金)	大垣市南地区センター
8 月 27 日 (木)	長森コミュニティーセンター	8 月 28 日 (金)	大垣市南地区センター
9 月 3 日 (木)	長森コミュニティーセンター	9 月 4 日 (金)	大垣市南地区センター
9 月 10 日 (木)	長森コミュニティーセンター	9 月 11 日 (金)	大垣市南地区センター
9 月 17 日 (木)	長森コミュニティーセンター	9 月 18 日 (金)	大垣市南地区センター
9 月 24 日 (木)	長森コミュニティーセンター	9 月 25 日 (金)	大垣市南地区センター

なお、8 月・9 月の練習は通常練習です。(18:45~20:45)

飽く迄予定です。変更になるかもしれません。ご承知おきください。

やさしい曲を上手に、きれいに、ひくよう努力すること。

「音楽と音楽家」シューマン(吉田秀和訳)

掲出句に続けて「その方が、むずかしいものを平凡にひくよりましだ」と、シューマンは書いた。

「やさしい曲」をひくのは意外にむづかしい。「上手に、きれいに」生き生きと弾くことは「努力」なしには、でない。これは諸芸に通じる座右の銘だろう。(中日新聞より)

私が、ブルグミュラー25 番練習曲をレコーディングしようと思ったきっかけでした。

音楽的に、いかに自分を表現するか、そのことに音楽の本質を見出したからです。リストや、ラフマニノフに挑戦する事も、大切なことだと思います。しかし、難曲だと感じさせる様では、世の中からクラシック音楽を敬遠されることでしょう。

私は、この作品から音楽的表現の大切さを少しでも感じ取っていただけたらと思っています。音大の卒業生の方も、もう一度、ブルグミュラーを弾いてみたいと思われれば本望です。きっと大切なものを発見することでしょう。また、現在ブルグミュラーをやっている方も、この曲の可能性をそれなりに最大限に引き出す手助けとなれば幸いです。

私たちは、このようなサロンコンサートを年間50 回程開催しています。少しでもクラシック音楽の普及につながればと願っています。

(CD:平光 保 ピアノコンサート参照)